

1 基本項目	事務事業名	新川学びの森天神山交流館運営事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	交流館運営費					係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	令和3年度	予算科目	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	学びの森天神山交流館費
	基本事業名	基本事業15-1. 芸術文化活動の推進					総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				集中プランとの関連	関連あり	

2 事業概要	事業概要	(一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を広く市民に提供する。
	対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。
	意図(成果指標)	施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 施設経費	円	55,115,868	52,867,016	53,823,000	27,266,511	50.7%	773,000
	② 自主事業実施回数	回	177	163	0	0		0
成果	① 利用件数	件	7,487	4,743	5,000	3,383	67.7%	5,000
	② 利用者数	人	53,755	31,295	35,000	17,135	49.0%	25,000

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	55,115,868	52,867,016	35,371,586	34,984,805	-33.8%	6,371,420
	①国庫支出金	円		0				
	②県支出金	円		0				
	③地方債	円		0				
	④その他(使用料、雑入等)	円	413,813	263,361	788,000	609,076	131.3%	598,420
人件費	⑤一般財源	円	54,702,055	52,603,655	34,583,586	34,375,729	-34.7%	5,773,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33.3%	2
	②年間所要時間	時間	580	620	620	1,400	125.8%	600
総費用(A+B)	円	57,598,268	55,520,616	38,025,186	40,976,805	-26.2%	8,939,420	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。</p> <p>○指定管理は令和3年度で終了し、新たに交流館を民間による利活用の募集・決定・施設の賃貸借契約の締結等の業務を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	C	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である		
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	1 なし		
結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	③ 上位施策への貢献度	2 普通		
				① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	1 適正である		
1次評価	今後の方針	○終了又は廃止・休止	方針の説明等	③ 負担割合の適正化	1 適正である		
		現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討		2次評価	不要		

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	芸術文化振興事業、交流館活性化事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成14年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につながるまち					款	教育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費	
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	学びの森天神山交流館費	
	基本事業名	基本事業15-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業			記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連			関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児
	手段(活動指標)	「おんがく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	意図(成果指標)	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 事業数	件	13	14	29	15	51.7%	29
	② 事業支援数	件	1	2	1	2	200.0%	2
	① 音楽事業参加者数	人	1,600	930	3,000	1,787	59.6%	3,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,267,807	2,497,983	2,498,000	2,480,000	-0.7%	2,498,000
	①国庫支出金	円		0				
	②県支出金	円		0				
	③地方債	円		0				
	④その他(使用料、雑入等)	円	56,500	88,000	760,000	110,000	25.0%	150,000
人件費	⑤一般財源	円	2,211,307	2,409,983	1,738,000	2,370,000	-1.7%	2,348,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	460	460	460	700	52.2%	400
総費用(A+B)	円	4,236,607	4,466,783	4,466,800	5,476,000	22.6%	4,210,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○「おんがく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。</p> <p>市民のためのクラシック講座「須川家おうちライブ 学びの森へのピクニック編」を6月27日に、「オーケストラの楽しみ方」Part.5『元NHK交響楽団首席クラリネット奏者磯部周平氏による魅惑のクラリネット』を11月14日に開催した。市民のための出前コンサートとして、学びの森ピカピカボランティアの日出前コンサート『くつろぎコンサート』を年3回実施した。小中学生のための音楽推進事業として、よつば小学校でサクソフォンとピアノのアウトリーチコンサートを6月25日に開催した。小学校では、歌唱指導や朗読と音楽のコラボレーションコンサートを開催した。</p> <p>○とやま室内楽フェスティバルを支援した。</p>	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	1 高い	
1 次評価	結果(課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	保育園、幼稚園から小学生に向けて、本格的な音楽に親しむ機会を作ることで、情操教育にも効果が上がってきている。今後は市民のニーズを把握し、事業内容の見直しを図るとともに、事業の周知に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルスの感染予防のため、事業の内容の再検討が必要。	③負担割合の適正化	1 適正である	2 次評価	不要

1 基本項目	事務事業名	新川文化ホール事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	新川文化ホール事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成6年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費		
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興				目	新川文化ホール費		
	基本事業名	基本事業15-1. 芸術文化活動の推進				総合計画主な事業			記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連			関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)				集中プランとの関連			関連なし

2 事業概要	事業概要	・(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。 ・新川文化ホールにおいて、児童・生徒に優れた音楽、本物の舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、芸術文化により親しみと関心を深めてもらう。
	対象	市民、各種団体等、市内中学2年生、市内小学5・6年生
	手段(活動指標)	・(公財)富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。 ・中学生舞台芸術鑑賞会(中学2年生対象)、小学生舞台芸術鑑賞会(小学5・6年生対象)を実施する。
	意図(成果指標)	・施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。 ・芸術文化に対する興味が高まる。豊かな心や感性・創造性が育まれる。

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 利用件数	件	2,534	1,665	3,000	1,922	64.1%	3,000
	② 利用料金	円	11,616,619	10,659,022	14,743,000	14,212,988	96.4%	15,000,000
成果	① 企画事業の延べ入場者(参加者)数	人			15,000	14,257	95.0%	15,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	74,423,000	74,749,666	79,004,606	76,323,830	2.1%	99,201,000
	①国庫支出金	円		0				
	②県支出金	円		0				
	③地方債	円		0				
	④その他(使用料、雑入等)	円	175,801	127,497	936,000	175,048	37.3%	220,000
	⑤一般財源	円	74,247,199	74,622,169	78,068,606	76,148,782	2.0%	98,981,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	540	580	580	840	44.8%	840
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	2,311,200	2,482,400	2,482,400	3,595,200	44.8%	3,595,200
総費用(A+B)	円	76,734,200	77,232,066	81,487,006	79,919,030	3.5%	102,796,200	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。新型コロナウイルス感染症の影響による減収補填を想定したが、利用料金の値上げにより収入が多くなったため返金となった。	
	○魚津市民文化祭(10月23日、24日)、第60回記念魚津市美術展(11月3日~11月7日)を開催した。	
	○小中学生舞台芸術鑑賞会 R3:中学生は講談、小学生は東京混声合唱団を舞台芸術鑑賞会に充てる予定だったが、小学生舞台芸術鑑賞会については新型コロナウイルスの影響により中止となった。	

6 評 価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	A		① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
1 次 評 価	妥当性	A	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である	2 次 評 価
	有効性	B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	③ 対象の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり	
1 次 評 価	結果(課長総括)	B	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	② 類似事業の有無	1 なし	2 次 評 価
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者と連携しながら事業を進めていく。また、施設の老朽化に伴い、大規模なものを含む修繕が増えており、指定管理者と協議しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。	③ 上位施策への貢献度	1 高い	
					① コスト効率	2 普通	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
					③ 負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業				担当部署	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	芸術文化振興事業				係名	生涯学習・文化係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				予算科目	款	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
		施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	文化費
		基本事業名	基本事業15-1. 芸術文化活動の推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	・市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。 ・魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。 また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。						
	対象	①市民、②市内文化団体(文化協会、市美協)、③市内小中学生・保育園児・幼稚園児						
	手段(活動指標)	・国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。 ・「おんがく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。						
	意図(成果指標)	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 国県等の補助事業開催数	件	3	1	5	2	40.0%	5	
	② 中学校文化連盟事業	件	12	6	12	11	91.7%	12	
	成果	① 市民文化祭への参加人数	人	4,471	1,928	2,500	3,413	136.5%	2,500
		② 市美展出品数(一般、招待)	点	193	192	240	190	79.2%	240

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	2,345,366	814,000	1,867,000	1,312,900	61.3%	2,143,900	
	財源内訳	① 国庫支出金	円						
		② 県支出金	円						
		③ 地方債	円						
		④ その他(使用料、雑入等)	円	1,513,038	7,941	189,000	113,594	1330.5%	151,000
⑤ 一般財源		円	832,328	806,059	1,678,000	1,199,306	48.8%	1,992,900	
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	4	33.3%	3	
	② 年間所要時間	時間	600	600	600	1,160	93.3%	600	
	③ 人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	2,568,000	2,568,000	2,568,000	4,964,800	93.3%	2,568,000	
総費用(A+B)	円	4,913,366	3,382,000	4,435,000	6,277,700	85.6%	4,711,900		

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等						
	<p>○国県等の補助事業を利用した公演(文化芸術による子供の育成事業等)を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。</p> <p>○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。</p> <p>○大平山濤作品「ベルリンの壁」の修繕を行った。</p> <p>○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。</p> <p>○「おんがく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。</p> <p>市民のためのクラシック講座「須川家おうちライブ 学びの森へのビクニック編」を6月27日に、「オーケストラの楽しみ方♪Part.5『元NHK交響楽団首席クラリネット奏者磯部周平氏による魅惑のクラリネット』」を11月14日に開催した。市民のための出前コンサートとして、学びの森ピカピカボランティアの日出前コンサート『くつろぎコンサート』を年3回実施した。小中学生のための音楽推進事業として、よつば小学校でサクソフォンとピアノのアウトリーチコンサートを6月25日に開催した。小学校では、歌唱指導や朗読と音楽のコラボレーションコンサートを開催した。</p> <p>○とやま室内楽フェスティバルを支援した。</p>						

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	1 次評価	妥当性	A		A	特に問題なし	
有効性		B	A	② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
				① コスト効率	2 普通		
結果(課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	② 実施主体の適正化	1 適正である		
今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	③ 負担割合の適正化	1 適正である		
				2 次評価	不要		

1 基本項目	事務事業名	体育施設管理事務				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	体育施設管理費					係名	スポーツ係		
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1046		
	事業期間	開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続		会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				予算科目	款	10教育費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	6保健体育費	
		施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	2体育施設費	
		基本事業名	基本事業15-2. スポーツ活動の推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令						総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(指定管理者制度)					集中プランとの関連	関連あり		

2 事業概要	事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。 1. 対象施設：天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園 2. 指定管理者制度による維持管理、運営 H18.4.1から(公財)魚津市体育協会	
	対象	市民、管理施設(ありそ、天神山野球場、吉田グラウンド、総合体育館(温水プール、弓道場含む)、桃山運動公園)	
	手段(活動指標)	(公財)魚津市体育協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕(規模が大きく金額で300千円以上)等を行った。	
	意図(成果指標)	事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 施設修繕(300千円以上)	件	3	6	4	11	275.0%	2
	② 指定管理委託料	円	180,540,000	193,561,000	172,430,000	185,710,991	107.7%	169,825,000
成果	① 週1回以上スポーツをする市民の割合	%	49.6	48.1	50.0	調査未実施		50.0
	② 対象スポーツ施設の利用者数	人	479,319	214,687	500,000	189,925	38.0%	400,000

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計(A)	円	262,880,646	243,156,587	396,760,000	378,384,802	55.6%	200,535,000
	①国庫支出金	円	19,502,135			5,940,000		
	②県支出金	円						
	③地方債	円			90,100,000	51,700,000		8,500,000
	④その他(使用料、雑入等)	円	28,784,517	2,045,000	105,517,000	100,894,000	4833.7%	12,501,000
	⑤一般財源	円	214,593,994	241,111,587	201,143,000	219,850,802	-8.8%	179,534,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	700	700	700	800	14.3%	700
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	2,996,000	2,996,000	2,996,000	3,424,000	14.3%	2,996,000
総費用(A+B)	円	265,876,646	246,152,587	399,756,000	381,808,802	55.1%	203,531,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	魚津市体育施設及びありそドームについて、基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料の支払い、及びありそ土地賃借料の支払い。 ・主な修繕工事 (ありそドーム)リモートユニット更新、区分開閉器更新、バリアフリートイレ入口改修、空調用2次ポンプ制御機器等更新、アリーナ照明LED化工事、アリーナ床面改修工事、ゴンドラ撤去工事 (桃山運動公園)トイレ洋式化工事、電話設備修繕工事 (温水プール)配管修繕工事、空調機修繕工事 ・備品等購入 (ありそドーム)トランポリン2台、マット2台、バドミントン支柱4対、足ふきマット6枚、トレーニングルーム機器 ・桃山野球場ラバーフェンス広告料収入 ・スポーツ施設長寿命化計画策定	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	B		①自治体関与の妥当性	1 妥当である	
妥当性	A	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	2 目標どおり		
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	2 普通		
				① コスト効率	2 普通		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
				① 結果(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり
1 次評価	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	スポーツ施設長寿命化計画に従い、計画的な施設の維持管理が必要。施設の修繕については、施設管理者との情報交換が重要。toto助成(スポーツ振興くじ助成)の内容を確認し、できるだけ活用していく。	2 次評価		

1 基本項目	事務事業名	スポーツ選手等強化育成事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	スポーツ選手等強化育成事業				係名	スポーツ係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	保健体育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	保健体育総務費
	基本事業名	基本事業15-2. スポーツ活動の推進					総合計画主な事業	
	根拠法令						総合戦略との関連	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）					集中プランとの関連	

2 事業概要	事業概要	競技スポーツ選手のレベルの向上を図るための取り組みを行う。 ①全国大会等へ出場した選手及び監督に奨励金を支給。②桑山賞の授与。③ジュニア選手（スポ少）の強化育成、指導者講習の補助。④強豪選手・チームを招へいしてのスポーツ教室の開催支援
	対象	全国大会等へ出場した選手及び監督、スポ少等、競技スポーツ選手及び指導者
	手段（活動指標）	・スポーツクリニック等、教室開催数 ・指導者講習会等の開催数
	意図（成果指標）	・奨励金申請件数 ・全国大会（国民体育大会・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会）出場者数

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① スポーツクリニック等、教室開催数	回	1	2	2	2	100.0%	2
	② 指導者講習会等の開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1
	① 奨励金申請件数	件	239	43	250	111	44.4%	150
	② 全国大会出場者数	人	35	1	40	61	152.5%	40

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	16,677,880	1,624,036	4,335,000	2,428,985	49.6%	4,274,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円		18,511	158,000	1,581	-91.5%	1,000
⑤一般財源	円	16,677,880	1,605,525	4,177,000	2,427,404	51.2%	4,273,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	1,000	1,000	1,000	700	-30.0%	700
	③人件費（②×@ 4,280円）(B)	円	4,280,000	4,280,000	4,280,000	2,996,000	-30.0%	2,996,000
総費用 (A+B)	円	20,957,880	5,904,036	8,615,000	5,424,985	-8.1%	7,270,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国・世界レベルの大会等へ出場した選手・監督に出場奨励金の支給。（コロナウイルス感染症拡大により縮小） ・桑山賞の授与（該当者なし） ・ジュニア選手強化育成、スポーツ指導者研修会の開催支援 ・トップレベルのチームを招へいしてのクリニックの開催（パナソニックワイルドナイツ選手によるラグビークリニック） ・中学生の県大、北信越大会、全国大会出場に対する交通費等補助（富山県中学校スキー大会派遣補助） 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	
	結果（課長総括）	A	A		計画どおり事業を実施することが適当	不要
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	A	特に問題なし	②目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である
2 次評価	結果	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	①目標達成度	1 高い
	現状を維持				②類似事業の有無	1 なし
	事業の拡充				③上位施策への貢献度	1 高い
3 次評価	事業の縮小				①コスト効率	2 普通
	統合等の検討				②実施主体の適正化	1 適正である
	終了又は廃止・休止				③負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名	市民体育大会等開催支援事業				担当部署	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	市民体育大会等開催支援事業				係名	スポーツ係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1046		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	保健体育費
		施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興					目	保健体育総務費
		基本事業名	基本事業15-2. スポーツ活動の推進					総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令						総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)					集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	○市民体育大会夏季・冬季運営委託料の支払い○各種大会の補助を行う。①しんきろうマラソン大会助成②全日本大学女子野球大会助成③市民スポーツ奨励事業助成④北陸実業団陸上選手権大会助成⑤富山県青少年相撲選手権大会助成⑥TJAR(トランスジャパンアルプスレース)助成	
	対象	市民、大会等参加者、関係者	
	手段(活動指標)	・市民体育大会夏季・冬季運営委託料 ・各種団体補助金額	
	意図(成果指標)	・しんきろうマラソン参加者数 ・全日本大学女子野球大会チーム数	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動	①市民体育大会夏季・冬季運営委託料	円	1,790,000	735,064	1,950,000
	②各種団体補助金額	円	5,889,638	423,000	5,525,000	3,544,095	64.1%	31,024,000
成果	①しんきろうマラソン参加者数	人	6,762	0	7,000	0	0.0%	4,500
	②全日本大学女子野球大会チーム数	チーム	19	0	20	0	0.0%	20

4 コスト情報	区分	単位	H31年度	R2年度	R3年度			R4年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			事業費合計 (A)	円	7,679,638	1,158,064	4,385,000	3,544,095
財源内訳	①国庫支出金	円						12,000,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			2,700,000			14,170,000
	⑤一般財源	円	7,679,638	1,158,064	1,685,000	3,544,095	206.0%	4,854,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	980	980	980	600	-38.8%	600
	③人件費(②×@ 4,280円)(B)	円	4,194,400	4,194,400	4,194,400	2,568,000	-38.8%	2,568,000
総費用(A+B)	円	11,874,038	5,352,464	8,579,400	6,112,095	14.2%	33,592,000	

5 取組内容	令和3年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育大会実施競技数 13競技 ・しんきろうマラソン【中止】⇒代替開催：日本風景街道(曇気楼ロード)ミニマラソン ・全日本大学女子野球選手権大会【中止】 ・市民スポーツ奨励事業 ・北陸実業団陸上選手権大会 ・富山県青少年相撲選手権大会【中止・神事のみ】 ・TJAR(トランスジャパンアルプスレース)【台風により途中中止】 	

6 評価	評価の視点	R2評価	R3評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	特に問題なし	①目標達成度	1 高い	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	①コスト効率	2 普通	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	市体育大会やマラソン、女子野球等、市全体の大きな大会には運営補助を行うことは適当である。しんきろうマラソンはtoto補助金の活用により単費を補う見込みができた。女子野球の単費を補う財源の確保が課題。	2 次評価	